



令和4年度

茨城県優良図書紹介（中学生向け）



『マイブラザー』 草野たき 著（ポプラ社）

わんぱくな5歳の弟の面倒を見る「イクメン中学生」の海斗。そんな海斗には、大嫌いなあいつにはばれてはならない「ヒミツ」が。中学生だって5歳児みたいに全てを吐き出せたら…。笑って泣ける、そんな心に残る一冊。



『文豪中学生日記』 小手毬るい 著（あすなろ書房）

日記の中では男になって、等身大の自分を表現しようと決める主人公。そんな彼女が自作の「詩」をSNSに投稿すると…。言葉のもつ力を再確認できる青春小説。



『みつばちと少年』 村上しいこ 著（講談社）

クラスみんなとうまくやれない…。そんな中1の夏、雅也は1人、北海道で養蜂場を営むおじの所へ。そこには様々な事情を抱えた子供たちが暮らす家「北の太陽」があった。あなたは本当の自分を出せていますか？



『博物館の少女 怪異研究事始め』

富安陽子 著（偕成社）

時は明治初期。大阪の古物商の娘で13歳の花岡イカルは、文明開化で移り変わる東京へやってきた！誕生して間もない上野の博物館で研究者の手伝いをするなか、次々起こる事件に巻き込まれるミステリー。



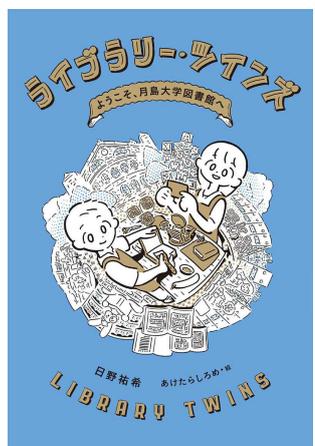
『#マイネーム』 黒川裕子 著（さ・え・ら書房）

明日から友達の名前を「さん」付けで呼ぶように。いきなり決まった“さんづけ”運動に納得できない！小さな火種がSNSを通じて学校全体を巻き込む事件へと発展する。あなたにも名乗りたい本当の名前がありますか？



『Fができない』 升井純子 著（文研出版）

中学1年生になって兄がくれた大切なギターをくれた。しかし、コードのFができない。そんな僕がまさかバンドを！？初めての中学生生活は誰もが不安を抱えている。あなたもこんな青春を味わってみませんか？



『ライブラリー・ツインズ』

日野祐希 著、あけたらしろめ 絵（アリス館）

高校生になれない！？進学のため、夏休みに大学図書館でボランティアをすることになった中学3年生の双子の姉と、天真爛漫な姉のお目付け役の双子の弟。知らなかった世界、素敵な出会い…。人生何があるかわからない！



『そのことばが降ってくる』 高柳克弘 著 (ポプラ社)

友達からのからかいがきっかけで保健室登校になった主人公。そこに「ナゾク」という俳句なぞなぞが得意なハセオという男子が現れる。俳句を通して何が見えるのか。十七音の言葉の世界に、ようこそ。



『パラゴンとレインボーマシン』

ジラ・ベセル 著、三辺律子 訳 (小学館)

僕は生まれつき色が見えない。灰色の世界。おじさんが残した「レインボーマシン」とは？もしかして…。謎に迫る中で出会った一体の人工知能ロボット・パラゴン。パラゴンにはある秘密が隠されていた…。



『10代で知っておきたい「同意」の話』

ジャスティン・ハンコック 文、ヒューシャ・マクアリー 絵、
芹澤恵、高里ひろ 訳 (河出書房新社)

自分を守り、誰かのことも傷つけずに、互いの意見分かち合っ
て生きていくことに必要なことを考えさせられる一冊。朝から
晩まで、様々なことを選択させられる現代で、自分の意見を
きちんと伝える方法を教えてくれる。